

5 速キックスタートキット取り付け説明書

キックスタートキットは取り付けに専門知識を必要とします。

作業方法を誤ると車両の破損や事故に繋がる恐れが御座いますので、取り付けの際には専門知識を有するショップにて取り付けをご依頼ください。

構成部品一覧



商品到着後はすみやかに開封し、上記構成部品をご確認ください。

万が一欠品のある場合には商品到着後 8 日以内に商品購入店舗へご連絡ください。

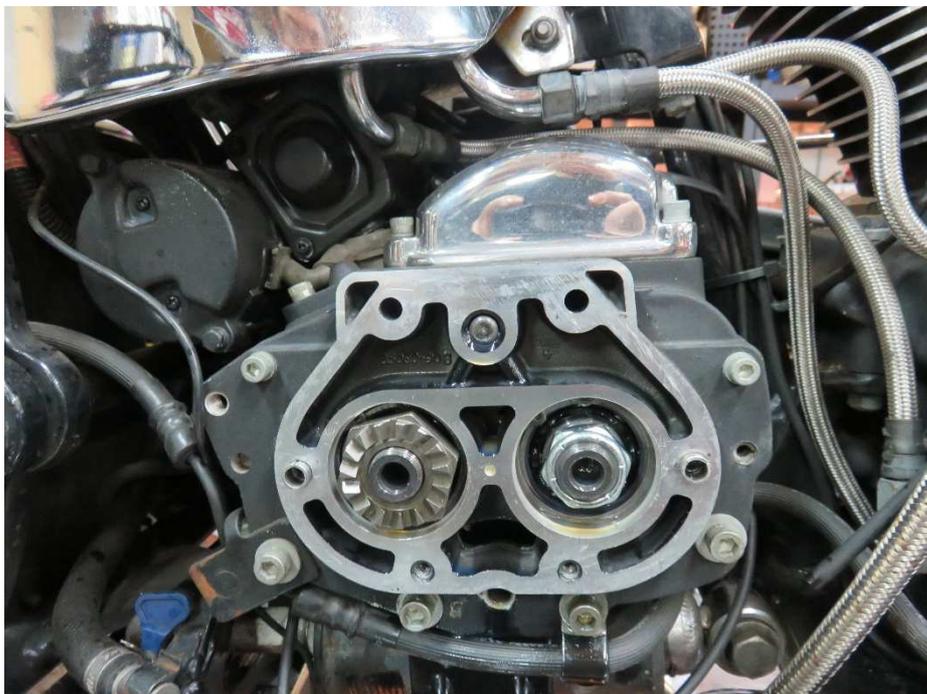
取り付け方法

事前準備として純正サービスマニュアルに従って、以下の作業を行ってください。

車両ごとに作業手順が異なります。必ずマニュアルをご確認ください。

- ・ミッションオイルを抜き取り、クラッチカバーを外す。
- ・クラッチカバーからクラッチケーブルを外す
- ・ノーマルのクラッチプッシュロッドを抜き取る。
- ・クラッチアジャストボルトを緩める
- ・メインシャフトのロックナットとそのワッシャーを取り外す。

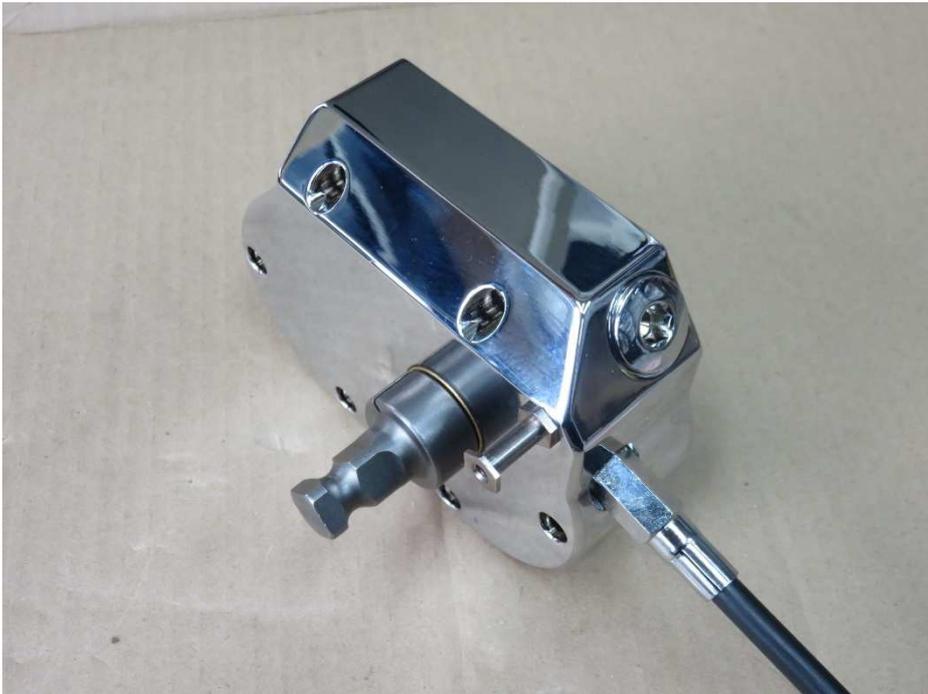
キックキット取り付け方法



キックキットのギアナット(構成部品①)をメインシャフトに取り付ける。ナットにはロックタイト(青色)を塗る。参考トルク 45-55ft lbs.



専用クラッチプッシュロッド(構成部品②)にスラストベアリング、スナップリングを組み付け、純正のプッシュロッドと入れ替える。



キッカーハウジングにクラッチケーブルを取り付け、キッカーシャフト(構成部品③)とスプリングストッパー(構成部品④)を取り付ける。



クラッチランプインナーとボールベアリング(構成部品⑤)をカバーにセットする。



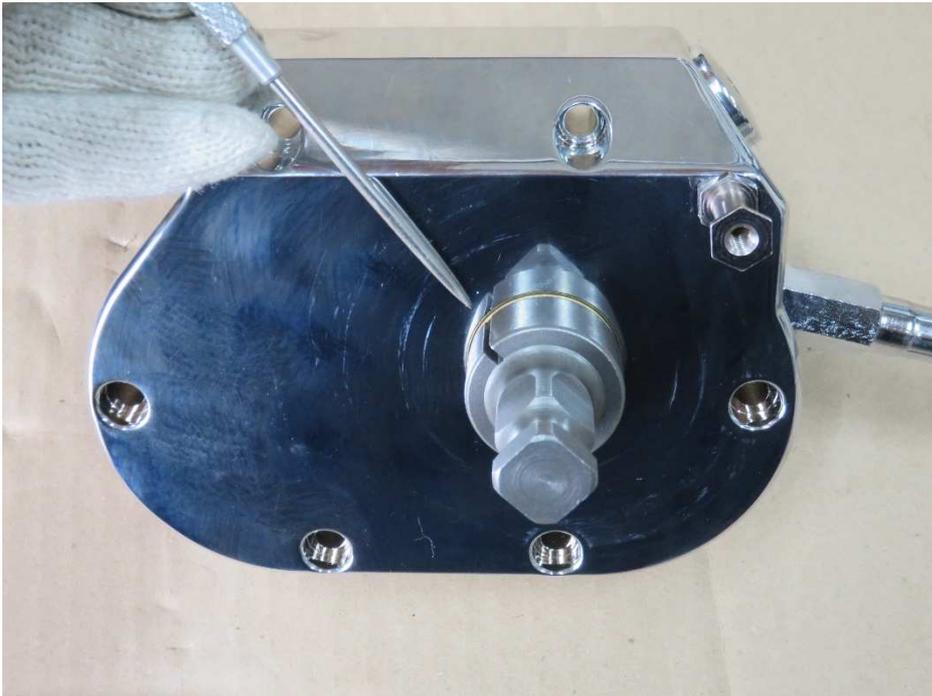
クラッチランプケーブルホルダー(構成部品⑥)にクラッチケーブルを組み付け、クラッチランプアウター(構成部品⑥)をセットする。



クラッチランプカバー(構成部品⑦)を組み付ける。ネジ(構成部品⑧)はロックタイト(青色)を塗る。

参考トルク 12.4Nm

*ネジ(構成部品⑧)は 4 本入っているがこの時点では 3 本のみ使用



キッカーシャフト(構成部品③)のスロット(切り欠き)部分を 10 時の方向に合わせておく。



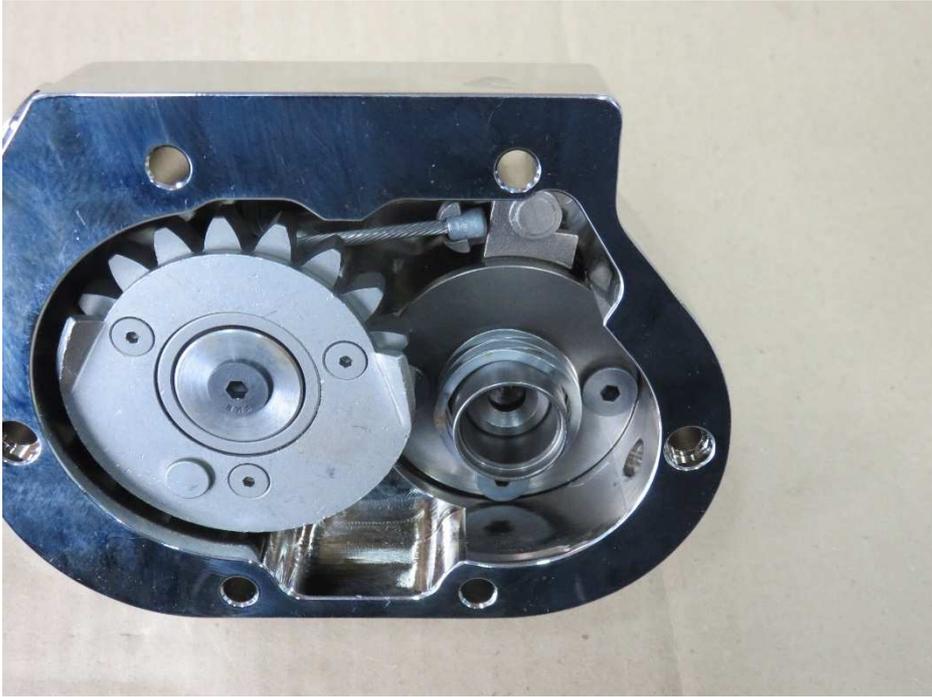
スラストベアリング(構成部品⑨)の取り付け準備をする。
取り付け順番は画像の通り。



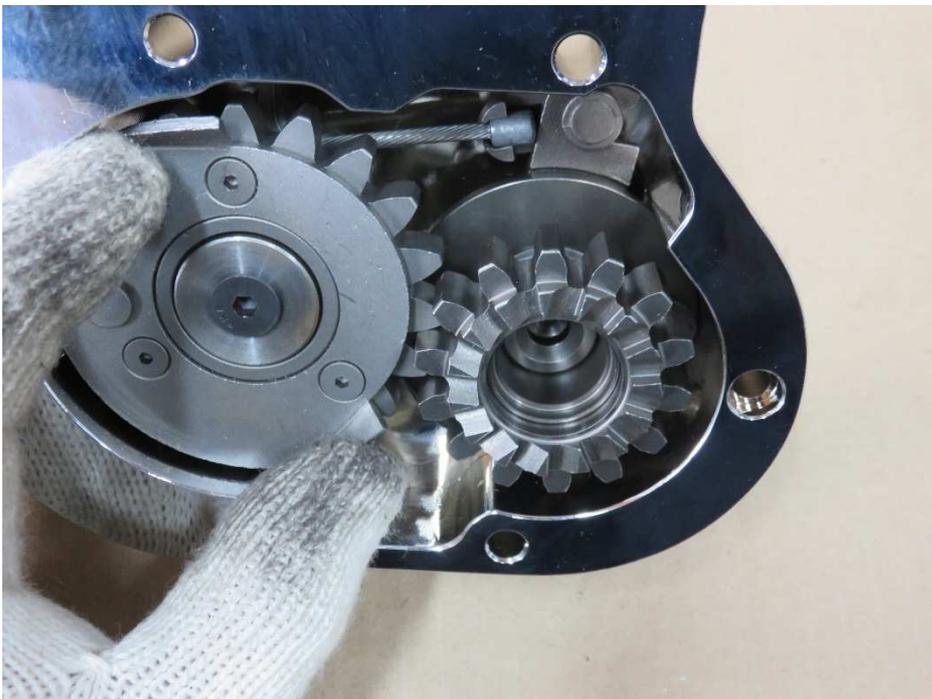
キッカーシャフト(構成部品③)の裏側にスラストベアリング(構成部品⑨)を取り付ける。



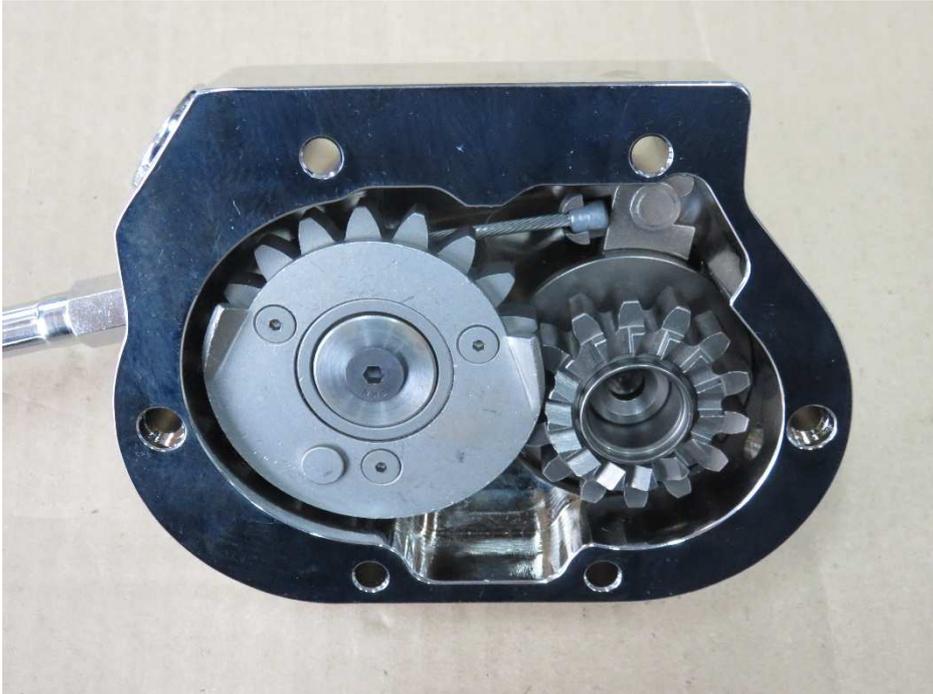
リテーナー付ラージギア(構成部品⑩)をキッカーシャフト(構成部品⑨)に組みつける。
ネジ(構成部品⑧)はロックタイトを塗る。参考トルク 12.4Nm



ウェーブスプリングワッシャー(構成部品⑪)を取り付ける。



ラージギア(構成部品⑩)を時計方向に回した状態で、スモールギア(構成部品⑫)を取り付ける。



スモールギア(構成部品⑫)を取り付けた状態で手を放し、ラージギア(構成部品⑩)を画像の位置にする。



リターンスプリング(構成部品⑬)のエンドをキッカーシャフト(構成部品③)のスロット(切り欠き)部分に差し込み、もう片方のエンドをスプリングストッパー(構成部品④)に引っ掛ける。

その後純正マニュアルに従い、キッカーカバーを組付け、クラッチケーブルの取り付け、調整を行った後にキックアームを取り付ける。

キッカーカバー組付けの際、メインシャフトに取り付けたギアナット(構成部品①)がスモールギア(構成部品⑫)と噛み合うように組付ける。

マフラー等の干渉物が無い事を確認しながらキックアームを踏み込み、クランキングできる事を確認する。

この時点で何らかの異常がある場合には、取り付け手順を確認し正常にクランキングが出来るまで使用しない事。

トランスミッションオイル注入



キッカーカバー後方に付いているプラグボルトを外した状態でトランスミッションオイルを注入口から注入する。



プラグボルトの穴からミッションオイルが出たところがオイルの規定量となります。
トランスミッションオイルが出てきた事を確認し、プラグボルトにシール剤を塗りしっかりと締る。

上記以外の質問については当社 WEB サイト <http://www.neofactory.co.jp> 上にてご確認頂くか、
ご購入店舗へお問い合わせください。

株式会社ネオファクトリー

この取扱説明書の著作権は株式会社ネオファクトリーに帰属します。
この取扱説明書の複製、改変、許諾なき再配布は禁止されています。